

2015 HAPPY NEW YEAR



明けましておめでとうございます。
皆様いかがお過ごしでしょうか。

現在の滋賀県は、琵琶湖からの寒風を受けた雪の影響で、非常に肌寒い日々が続いております。

新年早々、風邪をひかないよう手洗い、うがいを徹底させましょう。

さて、インキュベーターインターンシップでは、早いもので次期インターンシップ生募集プロジェクトが始まりました。写真は先日行われた募集説明会の様子です。

振り返ると、これまでインターンシップ期間中、職員の方々や同期のインターン生には大変お世話になりました。

インキュベーターインターンシップ卒業後も、インターンシップで得た経験を日々の活動に存分に活かしていきたいです。

今年も立命館大学BKCインキュベータ、そしてインターン生をどうぞ宜しくお願い致します。

編集者：21期生 須田 光紀

BKCインキュベーターインターンシップを通して

去年のインターンシップ活動で印象的だったこと

須田

日常業務で感じる、社会に出るといふことの厳しさです。BKCインキュベーターの職員の方々は、インターン生に対し自分たちと同じ目線に立って、偏見なく接して下さいます。これまで長期的に働いた経験がなかった私にとって、インターンシップへの参加が社会を知る第一歩となりました。

藤原

「人生のロールモデルに会えた」ことです。私は一つのことには特化するよりも、様々なことを同時並行で行うことが好きです。それを人生において実現している方を知り、私もこういう風になりたいと直感的に思いました。

森本

中間報告会です。今、自分のしていること、考えていることの方角性を改めて問われた瞬間でした。自分の軸がどこにあるか、考えさせられました。

劉

プロマテック株式会社 代表取締役 福島様へのインタビューです。このインタビューを通じて、普段、書籍で勉強していた知識が実践につながったと思います。また、安定した生活だけを求めるのではなく、リスクを負って挑戦することの大切さを改めて理解しました。

BKCインキュベーターインターンシップを通して

2015年の活動予定

須田

TV番組や映画の鑑賞または現地訪問を通じて、実際に起こっている現実をそのまま自分の中に落とし込んでいきたいです。書籍を読むだけでは、ありのままの姿を捉えることは出来ません。理論と現実をバランス良く扱っていきたいです。

藤原

「現場をみる」ことです。もちろん、挨拶や電話対応などの日常業務を怠らず、きちんと仕事をこなすことを前提としております。教科書やケーススタディにない「現場」に触れ、臨機応変に対応する力（実践力）を身に付けたいです。

森本

2015年は就活の年となりますが、自分にできることをコツコツ一つずつやっていきたいと思います。

劉

今年は視野を広げたいと思います。自分の視野はまだまだ狭いと感じています。そのため今年は様々な文献を読んだり、イベントや様々な場所に行くことで、視野を広げたいと思います。